

# 図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

Tel 0285-68-4380

URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホーム  
ページは  
こちら



ホームページでも図書館通信を見ることができます

## 2月のイベント

感染症対策のためサービスを制限しています。  
サービスの変更・再開・イベントを中止する場合はホームページやtwitterで随時お知らせします。

### ★リサイクル市

日時：2月18日（土）10:00～12:00

※要整理券（30分入替制）20冊まで

2月18日（土）12:00～17:00 ※制限なし

2月19日（日）9:30～17:00 ※制限なし

※入場自由

内容：図書館で除籍になった本を無料で配布します。  
お持ち帰り用のバッグは各自ご用意ください。

場所：2階 企画研修室

整理券配布期間：2月1日（水）～

※入場時間の希望はできません

整理券配布方法：

カウンターにて配布



### ★ダンボの会のおはなし会

日時：2月26日（日）10:30～（50分程度）

場所：1階 おはなしコーナー

内容：ボランティアによる、お子様向けの絵本の読み聞かせです。ご家族みなさんでぜひお楽しみください。

### ★しょうちゃん遊びま専科

「CDごまを作って遊ぼう！」の参加者を募集します

日時：3月4日（土）14:00～

場所：2階 企画研修室

内容：当館顧問「しょうちゃん」と工作やゲームを楽しみます。

定員：5組

対象：幼児～小学生

※小3まではひとりにつきひとりの保護者同伴

受付期間：2月5日（日）～ ※定員になり次第終了

申込方法：カウンターまたはお電話



お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

ツイッターでも  
情報配信中！

市貝町立図書館

『いっとくん』

@ittokun\_ichikai



★開館時間 9:30～19:00★



★利用者アンケートにご協力

ありがとうございました★

1月中、館内において利用者アンケートを実施しました。貴重なご意見をありがとうございました。自由記入欄にいただいたご意見については、担当スタッフからの回答を館内に掲示・ホームページに掲載する予定です。



★新しょうちゃんコレクション★

「しょうちゃん」の展示が新しくなりました。今回は「ペットボトルキャップコレクション展」です。

ショーケースいっぱいになったマスコットは圧巻です。ぜひあなたのお気に入りを探してみてください。



### ★歴史民俗資料館のイベント

第49回企画展「いちかいの埋蔵文化財」

期間：2月4日（土）～3月19日（日）

※休館日は図書館に同じ

内容：資料館所蔵の考古学遺物を展示します。古代の市貝町はどのような様子だったのか知ることができます。

お問い合わせ：中央公民館 ☎68-0020

## 図書館カレンダー

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28※				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31※	

…休館日

※月末資料整理日

# 芥川賞・直木賞

1月19日に第168回 芥川賞・直木賞（下半期）が決定しました。市貝図書館では1階に受賞作コーナーを設けています。受賞作・候補作ともぜひ読んでみてください。（※は購入準備中：1月21日現在）

## ★芥川賞★

「この世の喜びよ」※

井戸川 射子 // 著（講談社）

「荒地の家族」※

佐藤 厚志 // 著（新潮社）

## ★直木賞★

「地図と拳」

小川 哲 // 著（集英社）

「しろがねの葉」

千早 茜 // 著（新潮社）

## 芥川賞候補作

「ジャクソンひとり」 安堂 ホセ // 著（河出書房新社）  
「開墾地」※

グレゴリー・ケズナジャット // 著（講談社）

「グレイスレス」 鈴木 涼美 // 著（文藝春秋）

## 直木賞候補作

「汝、星のごとく」 凧良 ゆう // 著（講談社）

「光のとこにいてね」 一穂 ミチ（文藝春秋）

「クロコダイル・ティアーズ」 雫井 脩介 // 著（文藝春秋）

## 今月のスタッフおすすめ本

### 「おおきな木」

シェル・シルヴァスタイン // 著  
（あすなろ書房）

おおきなりんごの木は、毎日やってくる少年のことが大好きでした。木登りやはっぱ遊び、そしておおきな木になるりんごを食べて幸せな時を過ごしました。

時は流れ、成長し変わっていく少年。

「お金がほしい」「家がほしい」「船がほしい」少年の希望に惜しみなく自分の身を与え続けるおおきな木。

子どもの頃に読んだ時は、少年の身勝手な要求に腹立ちを感じ、また、大きな木のただひたすら与え続ける思いに理解ができなかったのを覚えています。大人になって読み返すと、いろいろな感情が溢れます。なにを持って幸せを感じるのか？愛について考えさせてくれる名作です。

（スタッフ：チョコ丸）

## 「LOVEの本」

### 「いのししの夫婦」

浅野 薫 // 著  
（文芸社）

丘の上で結婚式をあげた、いのししの夫婦。

朝は、一杯のコーヒーと新聞から始まり、働いて、遊んで、食事とビールで一日を終える。季節を感じ、二人で見る夕日に黄昏て。そんな、いのししの夫婦の穏やかで優しい日常をこの絵本は描いています。

何だか、私たちにちょっと似てる気がしませんか。年齢も性別も問わず、大切な人のいる全ての皆さんに、この中睦まじい、いのししの夫婦のお話をお届けします。

愛の始まりは、心揺さぶられる情熱や涙かもしれませぬ。でも、普段使いの愛は、お互いの「ありがとう」で充分幸せを共有できると改めて感じる事ができます。この絵本のいのししの夫婦のように。

（スタッフ：ぴっぴ日和）

